

著者プロフィール



清水 直樹

聖マリアンナ医科大学小児科学主任教授

1990年、千葉大学医学部卒業。国立小児病院を経て、1998年、トロント小児病院集中治療部・救急部。2002年、国立成育医療センター救急診療科。2008年、君津中央病院救命救急センター。2010年、東京都立小児総合医療センター救命集中治療部。2019年より現職。

専門領域：小児集中治療・小児救急・蘇生科学



森村 尚登

帝京大学医学部救急医学講座主任教授、帝京大学医学部附属病院救急診療科長・同救急診療部部長、帝京大学先端総合研究機構危機管理研究部門部門責任者

1986年、横浜市立大学医学部卒業。1990年、同大学附属浦舟病院救命救急センター。2002年、国立横浜病院救命救急センター副センター長。2003年、帝京大学救急医学講師。2010年、横浜市立大学救急医学主任教授。2016年、東京大学救急医学教授。2021年、帝京大学救急医学主任教授（現職）。

専門領域：救急医学、集中治療医学、災害医学



齋藤 昭彦

新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野教授

カルフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）小児科准教授

1991年、新潟大学医学部卒業。聖路加国際病院小児科で研修後、1995年、渡米。ハーバードUCLAメディカル・センターでのリサーチフェローを経て、1997年、南カルフォルニア大学小児科レジデント。2000年、カルフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）小児感染症フェロー。2004年、同助教授。2008年、国立成育医療研究センター感染症科。2011年より現職。2020年、同副学部長。

専門領域：小児感染症学

加藤 稲子

金城学院大学看護学部医療関連研究開発部門教授

京都府立医科大学卒業。名古屋市立大学小児科入局。1996年、ブリュッセル自由大学附属小児病院。1997年、名古屋市立大学小児科。2012年、埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター教授。2015年、三重大学周産期新生児発達医学講座教授。2020年より現職。

専門領域：新生児、乳児突然死



松永 綾子

聖マリアンナ医科大学小児科学講座講師

2003年、宮崎医科大学卒業。同年、千葉大学小児科入局。千葉県内での研修後、2011年、東京都立小児総合医療センター集中治療科、千葉大学医学部附属病院救急部・集中治療部、千葉県こども病院集中治療科を経て、2016年、千葉県こども病院代謝科勤務。2022年より現職。

専門領域：先天代謝異常症、小児肝疾患、小児集中治療



山田 不二子

認定NPO法人チャイルドファーストジャパン（CFJ）理事長

1986年、東京医科歯科大学医学部卒業。1998年、子ども虐待・ネグレクト防止ネットワーク（CFJ）の前身団体）設立。2015年、三重大学大学院医学系研究科博士課程修了。日本子ども虐待医学会理事兼事務局長、日本子ども虐待防止学会理事、国際子ども虐待防止学会理事。

専門領域：内科、子ども虐待医学



川崎 二三彦

子どもの虹情報研修センター長

京都府の各児童相談所で児童心理司、児童福祉司、児童福祉司スーパーバイザーなどとして約30年あまり相談業務に従事。2007年より子どもの虹情報研修センター研究部長。2015年より現職。現在、日本子ども虐待防止学会理事、全国児童相談研究会（児相研）代表委員など。

専門領域：児童福祉



橋本 直也

株式会社 Kids Public 代表取締役（小児科専門医）

2009年、日本大学医学部卒。国立成育医療研究センターにて小児科研修。東京大学大学院にて公衆衛生学修士号を取得。妊娠、出産、子育てにおいて誰もが孤立しない社会づくりを目指し、2015年12月に株式会社 Kids Public を設立。

専門領域：小児科一般、公衆衛生



安 炳文

京都第一赤十字病院救命救急センター副センター長、救急救急 ER 部長

1998年、京都府立医科大学卒業。同年、同大学小児科学教室入局。小児科専門医取得ののち、成育医療研究センター手術集中治療部、湘南鎌倉総合病院救急総合診療科、京都府立医科大学救急医療学教室勤務などを経て、2022年より現職。

専門領域：ER 診療、小児救急、事故予防、子ども虐待

井上 信明

国立国際医療研究センター国際医療協力局人材開発部研修課課長

1996年、奈良県立医科大学卒業。国内で総合診療、救急、小児科研修。2002年以降米国および豪州にて、小児科および小児救急を研修。2010年に帰国し、都立小児総合医療センター救命救急科医長。2016年、国立国際医療研究センター国際医療協力局人材開発部。2017~2021年、JICA モンゴル国一次および二次医療施設従事者のための卒後研修制度強化プロジェクトチーフアドバイザーとして赴任。2023年より上記プロジェクト第二フェーズのチーフアドバイザー併任。日米小児科専門医、米国小児救急専門医、日本小児救急医学会理事。

著者プロフィール



川口 敦

聖マリアンナ医科大学小児科特任教授，
聖マリアンナ医科大学病院小児科医長

2003年，大阪大学卒業後，神戸市立中央市民病院（現・神戸市立医療センター中央市民病院），倉敷中央病院で小児科，救急などの研修に励む。2007年より静岡県立こども病院に勤務しPICUの立ち上げに携わり，2010年度末からカナダ・アルバータ大 Stollery Children's Hospital にてPICU臨床フェロー，同大公衆衛生大学院で疫学博士号を取得，オタワ大 Children's Hospital of Eastern Ontario 小児科，小児集中治療学講師，モントリオール大 CHUSainte Justine 研究所シニア研究員などを経て，2022年より現職。

専門領域：小児集中治療，臨床疫学，人工呼吸療法



河上 千尋

高槻赤十字病院小児科部長，大阪医科大学臨床教育教授

1994年，大阪医科大学卒業。2006年，大阪医科大学助教。2012年，済生会吹田病院。2020年，済生会茨木病院。2023年より現職。

専門領域：血液病・免疫不全・感染症



後藤 美和子

福岡市立こども病院眼科科長

1994年，大分大学医学部卒業。九州大学眼科入局。九州厚生年金病院，国立九州医療センターなどを経て，2005年より現職。

専門領域：小児眼科，斜視